

新 城 市 議 会

予 算 ・ 決 算 委 員 会

令和5年5月12日（金曜日）

予算・決算委員会

日時 令和5年5月12日（金曜日） 午前10時10分 開会
場所 議場

本日の委員会に付した事件

1 議題

第104号議案

「質疑・討論・採決」

出席委員（17名）

委員長 丸山隆弘 副委員長 鈴木達雄
委員 カークランド陽子 今泉吉孝 小林秀徳 竹下修平 齊藤竜也
佐宗龍俊 鈴木長良 浅尾洋平 柴田賢治郎 小野田直美 山田辰也
村田康助 山口洋一 滝川健司 中西宏彰
議長 長田共永

欠席委員（0名）

説明のために出席した者

市長、副市長、教育長、課長職以上の関係職員

事務局出席者

議会事務局長 田中秀典 議事調査課長 阿部和弘 書記 山本弘美
書記 請井悠人

開 会 午前10時10分

○丸山隆弘委員長 ただいまから予算・決算委員会を開会します。

本委員会は、本日の本会議におきまして本委員会に付託されました第104号議案 令和5年度新城市一般会計補正予算（第2号）を審査します。

審査は説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑は、配付の質疑通告順序表に従って発言を許可します。

質疑者、答弁者とも予算審査の趣旨に添って、簡潔明瞭にお願いいたします。なお、2問目以降の質疑は、答弁に疑義のある場合に行うものとし、新規の質疑は行わないようお願いいたします。

第104号議案 令和5年度新城市一般会計補正予算（第2号）を議題とします。

初めに、歳入20款繰入金の質疑に入ります。

質疑者、浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 それでは、通告をしておりますので、その順序に従って質疑をさせていただきますと思います。

まず、1点目の歳入の質疑に入りますが、20款1項1目基金繰入金になります。財政調整基金繰入金、9ページ。

1問ありますが、財政調整基金の1,531万5千円を計上されておりますが、その理由を伺います。

○丸山隆弘委員長 山本財政課長。

○山本浩志財政課長 財政調整基金繰入金につきましては、本補正予算におきまして、財源調整のため計上させていただいております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 財源調整のためということですが、そもそも論ですが財政調整基金の役割というのは何か教えてください。

○丸山隆弘委員長 山本財政課長。

○山本浩志財政課長 条例に定めてありますとおり、条例を読まさせていただきますけど

も、設置の目的、新城市財政調整基金の設置及び管理に関する条例におきまして、災害復旧、地方債の繰上償還その他財源の不足を生じたときの財源を積み立てるため、財政調整基金を設置しております。その処分といたしまして、補正予算の計上を必要とするもこれに対する財源のないときに、財政調整基金を処分することができるということになっております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 財政調整基金の役割というのを今、言っていただいたのですが、財源が不足しているという状況であります。

ほかにネットでも調べると出のですが、この財政調整基金の意味合いとしては、災害など本当に緊急、経済が大不況になったりとかそういう必要やむを得ない理由で財源不足が生じた年度に活用する基金として定めております。大変な大災害とか、経済の不況の状況に使うというような、やむを得ないときの財源として、この財政調整基金を積み立てておいて、ここから使うというような定義が1つあるということで、まず押さえたいと思います。

そこで、疑問なのですが、この財政調整基金を今回、1,500万円余を原資として、財源を使って、今回ほかの事業に使うということなのですが、この財政調整基金を使って、どのような事業に今回割り振るといえるのか、使うという計画なのでしょうか伺います。

○丸山隆弘委員長 山本財政課長。

○山本浩志財政課長 本予算案におきましては、歳出のうち、四谷千枚田多目的施設管理運営事業、緊急改修事業、新型コロナウイルス感染症対策資金融資支援事業、大河ドラマタイアップ事業、小学校管理事業、地域文化広場改修事業、以上の事業に充当させていただきます。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました。この財政調

整基金1,500万円取り崩して、そういった大河ドラマタイアップ事業だとか、四谷千枚田の補修に基金を使うということで理解をいたしました。緊急なのかなというふうにちょっと定義で疑問なのですが、この財政調整基金を取り崩すという財源、今回したのですが、ほかにお金ってなかったのですか。例えば、予備費だとか、前年度の不用額のお金等が今、あるということで予備費等を使うということは考えなかったのでしょうか。

○丸山隆弘委員長 山本財政課長。

○山本浩志財政課長 予備費の充用も、この補正予算計上する中で検討もさせていただきましたけども、予備費のほうも金額の限りもございますし、こうした1,500万円という予算ですので、基金のほうからの繰入れという形で今回計上させていただいております。

なお、繰越金につきましては、まだ出納整理期間中でありまして、前年度からの繰越金、確定しておりませんので、支出ができませんので、財政調整基金での対応という形で計上をさせていただいております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 予備費がないということで、では、1,500万円の予備費も、そのぐらいの大きさの額でも捻出できないと。そういう財政だから、財政調整基金から取り崩したというような理解でよろしいのでしょうか。

○丸山隆弘委員長 山本財政課長。

○山本浩志財政課長 当初予算書の予備費5,000万円計上しておりますが、まだそれこそ大災害等が起きた際に、緊急的に使う場合もございますので、その予備費ではなく今回は財政調整基金でという形で充当をさせていただきたいと思っております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 わざわざその緊急事態のときに使うという財政調整基金の予算からこれを使うというのが、ちょっと腑に落ちないのですが、もう1回ちょっと聞かせてもらいま

す。

予備費があるんですよね。あるのにこれを使わないということなのか、あるけれども使えないということ、この予備費を使わなかったというところ、もう1回ちょっと答弁で教えてください。

○丸山隆弘委員長 山本財政課長。

○山本浩志財政課長 今回は、この臨時会で認めていただきまして、財政調整基金を取り崩させていただくという形で充当を考えさせていただいております。

予備費は、こうした議会を開くいとまもなく災害復旧等に対応する場合に充用をさせていただきたいという予算で持っておりますので、今回こうした臨時会を開かさせていただきましたので、財政調整基金でまず充当をさせていただきたいという形で計上させていただいております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 臨時会で、いとまがないということですけど、でも、例えば各タイアップ事業だったら500万円で、観光課だったら観光課にも予算と予備費あると思うのですが、そこから500万円とりあえず捻出をお願いしますというような組立てで、各農業課だったら農業課の修繕の予備費から28万円出してもらおうというようなこの組立てでやるということはできなかったのでしょうか。

○丸山隆弘委員長 山本財政課長。

○山本浩志財政課長 当初予算の中では目的を持って予算計上しておりますので、今回のタイアップ事業ですとか、農業土木のほうの緊急修繕につきましては、当初予算もう既に執行をしております、今後の災害に対応するための115万5千円ですとか、四谷千枚田のほうも当初予定しなかった緊急修繕の対応という形で計上をさせていただいております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員の質疑が終わりました。

以上で、通告による質疑が終わりました。

ほかに質疑はありませんか。

[発言する者なし]

○丸山隆弘委員長 質疑なしと認めます。

歳入20款繰入金の質疑を終了します。

次に、歳出3款民生費の質疑に入ります。

質疑者、浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 それでは、次の質疑に入ります。

歳出です。3款1項1目社会福祉総務費、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業11ページになります。

1点目は、主な内容を伺います。

2点目は、対象者の数と手続と周知方法について伺います。

○丸山隆弘委員長 後藤福祉課長。

○後藤美紀福祉課長 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業について、2点質疑をいただきましたので順序に沿って説明させていただきます。

まず、こちらの事業の主な内容でございますが、物価高騰の負担感が特に大きい低所得世帯への負担の軽減を図るため、住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり3万円の支援給付金を支給するものです。

2番目の対象者数と手続と周知方法でございますが、まず対象につきましては、世帯全員の令和5年度の住民税が非課税である世帯を対象としており、対象世帯数は同様の世帯を対象に実施しました令和3年度、令和4年度の給付金の支給実績から3,400世帯を見込んでおります。

手続につきましては、該当すると思われる世帯に確認書を送付し、返送があった世帯に対し必要事項を確認の上、給付金を支給していく流れを考えています。

周知方法につきましては、市のホームページや広報ほのか、市の公式LINE等で広く周知していきたいと考えております。

以上です。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました。まずこの非課税世帯の方を中心に3,400世帯、過去のデータから対象になるだろうということ、3万円の給付ということで理解いたしました。

そこで、ちょっと心配なのが、給付がいつされるのかなというところなのですが、今の答弁では、確認書を発送というのが7月上旬ということで、早くとも7月からということなんでしょうか。そこら辺、流れを教えてください。

○丸山隆弘委員長 後藤福祉課長。

○後藤美紀福祉課長 こちらの流れでございますが、まず令和5年度の非課税世帯ということで、課税情報というか、こちらのほうのデータを抽出しまして、そちらと住民情報を合わせるということで、そちらのシステムをまず今、共同調達のほうで準備をしているところでございます。

準備でき次第、新城市のほうにもシステムを導入しまして、対象者を抽出したところで確認書を発送していくということになりますので、どうしても7月上旬、なるべく早くとは思っておりますが、7月上旬を目指しております。一応、共同調達でございますので、東三河5市でそろって同じぐらいのタイミングでということ考えております。

確認書を送りまして、着いた世帯から確認書の返送が届きましたら、こちらのほうへ届いて、大体3週間ぐらいで振込みができるよということ、早めにやっていきたいと思っております。

以上です。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました。

やっぱり非課税世帯で、国のほうも大変な世帯に対しての給付ということでの趣旨です。そういったことも踏まえると、やはり早く低所得者の方に届けていただきたいなという思いで質疑をさせてもらっておるのですが、やっぱりそういった7月、本当5月でも大変、

6月でも大変という生活状況があると思いますので、その中でちょっと7月以降に早ければ振り込まれるということはちょっと遅いのではないかなと思っているのですが。

そこのところはどういうふうに考えている、データが上げてくるのが、やっぱりそのぐらいになるということで遅くなるというような理解でいいのか、それともほかの市町等も含めて、早くできる手だてがあるのか、そういったところはもうどういうふうに認識しているのか、伺います。

○丸山隆弘委員長 後藤福祉課長。

○後藤美紀福祉課長 こちらのほうでも早く出したいということはあるのですが、税の確定時期というものがあまして、そちらが6月にならないと確定しないものですから、それまでは出せないというところがございます。

以上です。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました。なるべく早くというふうな要望をしたいと思います。

1点だけ、この方、確認書をまず発送して、その確認書を書いてもらったのを受けたら給付という流れなのかなと思うのですが、そこで、その3,400世帯って結構多いと思うのです。そうすると、忘れてたりとか、字の記入がなかなか難しいとか、適用なだけけれども、申請が来てないという方への確認というか、辞退されれば別なのですが、そういった確認とか周知とかというのを何か考えているのかどうか、伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 後藤福祉課長。

○後藤美紀福祉課長 なかなか全員に個別で対応というのは難しいとは思っておりますが、まず、ほのかだとか市のホームページ、LINE等で周知をしていくとともに、コールセンターというか、その電話番号を特設というのか、この給付金に特化したそのための電話の回線を1本置きますので、そこに非常勤の職員を2名置いて対応していきますので、

電話等で問合せがあれば、そちらで順次というか、分からないことがあればお答えしていくという形で、なるべく分からないから出せないということがないようにはしていきたいと思っております。

以上です。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 では、続きまして質疑をさせていただきます。

3款3項14目子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業13ページになります。

1点目は、主な内容を伺います。

2点目は、対象者数と手続と周知方法について伺いたいと思います。

3つ目は、対象者の中で、条件としてですが、直近で収入が減少した世帯の方がいるのですが、その方への周知方法について聞かせてください。

○丸山隆弘委員長 中山こども未来課長。

○中山恭成こども未来課長 それでは、1点目、内容でございます。

食費等の物価高騰に直面し、特に影響を受ける低所得の子育て世帯に対しまして、児童1人5万円の給付金を支給することにより生活支援を行うものでございます。

2点目、対象者でございますが、令和5年3月31日時点で18歳未満の児童、また障がい児につきましては20歳未満でございますが、及び令和5年4月1日から令和6年2月29日までに生まれる新生児の養育者であって、令和5年3月分からの児童扶養手当の受給者及び令和4年度分の住民税均等割が非課税の子育て世帯となります。そのほか、食費等の物価高騰の影響を受けて家計が急変し、同様の事情があると認められる方も対象となっております。

対象児童数は650人を見込んでおります。家計急変以外の世帯の方には、申請不要ということで速やかに支給してまいりたいと思っ

ております。また、家計急変の世帯には、申請書を提出していただいた上で、速やかに支給をしてまいりたいと思います。

周知方法ですが、申請不要の世帯の方には直接給付する案内を送付いたします。

3点目です。申請が必要となります家計急変の世帯に対しましては、先ほどと一緒に、広報ほかでありますとかホームページ、またそのほか生活困窮者支援機関等、そこら辺とも連携しまして、周知をしてまいりたいと思います。

以上です。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました。こちらのほうも、国から低所得者世帯の子育てをしている方への給付ということで、1人5万円ということで理解いたしました。

先ほどの生活支援の非課税の住民税の方と同じ立場なんですけど、やっぱり早く届けるということが必要かと思うのですが、この申請書不要の方については、どのぐらいの早さで届けることができるのでしょうか、伺います。

○丸山隆弘委員長 中山こども未来課長。

○中山恭成こども未来課長 こちらは先ほどの非課税世帯とは違いまして、制度的には昨年度支給した世帯へ支給するというございますので、もう速やかに抽出できれば支給できます。なので、時期としては、5月末を予定しております。

以上です。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました。こちらのほうはもう抽出がほぼできているので、速やかに5月末から給付ということで、理解いたしました。早く順次お願いしたいと思います。

1つ心配なのは、3番の直近の収入が減少した世帯をどう見極めるのかというか、調べてその方に周知をして、申請をしてもらうのかということだと思います。やっぱり本当

に大変な状況の世帯ですので、なかなか広く情報網を持つてるとい状況にないと思いますので、こちらから情報が届くというようなことが必要かと思いますが、この直近で収入が減少した世帯の方には、どのように調べて、周知を図っていくということなのか改めて伺います。

○丸山隆弘委員長 中山こども未来課長。

○中山恭成こども未来課長 先ほど答弁させていただいたように、まず生活困窮者の支援機関等と連携していきたいと思っております。そこで心配な方がおりましたら、こちらにお知らせをいただく。

それから、でき得れば民生委員さんたちにも御協力いただきまして、地域の方のちょっと気になる方がおりましたら連絡いただくような、そんな連携もとっていききたいと思っております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました。支援機関というのは社会福祉協議会とか、そういった方ということで理解いたしました。

あとは、この急激な収入減の世帯という方への国から基準というのは示されているのでしょうか。幾らから幾らまで減少した方について対象ですよとか、細かい基準、条件、そういったものは示されているのか伺います。

○丸山隆弘委員長 中山こども未来課長。

○中山恭成こども未来課長 独り親世帯につきましては、児童扶養手当の支給制限と同じ、同様の所得です。独り親以外につきましては非課税相当ということで、それも同等の支給基準となっております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました。

そういった形で周知をしっかりとやって、適用の方が知らない間に終わってしまったということがないようにお願いしたいと思います。

あと1点だけ、この子育ての世帯応援の給付については、そういった窓口のコールセン

ターとか、そういったものは開設する予定があるのかないのか、そこだけ教えてください。

○丸山隆弘委員長 中山こども未来課長。

○中山恭成こども未来課長 こども未来課内に事務局は設置します。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員の質疑が終わりました。

以上で、通告による質疑が終わりました。

ほかに質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

○丸山隆弘委員長 質疑なしと認めます。

歳出3款民生費の質疑を終了します。

次に、歳出6款農林水産業費の質疑に入ります。

最初の質疑者、山田辰也委員。

○山田辰也委員 では、第104号議案 令和5年度新城市一般会計補正予算（第2号）、歳出6款1項4目農業振興施設費、四谷千枚田多目的施設管理運営事業13ページ。

発電施設の修繕の部分と修繕の内容をお願いします。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 発電施設の修繕部分につきましては、同発電施設の導水管部分になります。

修繕の内容としましては、導水管が詰まったことによりまして同発電施設を経由して水田へ水を供給できないという状態になっていることから、詰まった部分の取替修繕を行うものでございます。

以上でございます。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 導水管の詰まりで水田への供給ができないということですね。

これ、小水力発電というのが出てるんですけど、これいつ頃の、どこが造って、当初の目的は何だったのでしょうか。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 この発電施設につきましては、平成25年5月に稼働を開始しております。こちらを整備したのは、愛知県のほうで整備をさせていただいております。

以上でございます。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 私、調べたら平成25年6月1日に愛知県知事も来てるのですが、これ愛知県が造ったものを何で新城市が直すのですかね。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 すいません。当時の詳しいいきさつは、詳細はちょっとつかんでおりませんが、整備としまして愛知県が整備をして、それを譲り受けて市のほうで管理をしておるという状況でございます。

以上でございます。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 市が譲り受けたって言うんですけど、これ、今まで管理してなかったわけなのですか、伺います。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 これまでも、平成25年から動いておりますので、それ以降は市のほうで管理をしてきたというものでございます。

以上でございます。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 市が管理したというのは、どのような管理をしてきたのでしょうか、伺います。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 例えば、バッテリーの交換ですとかそういったところを管理をしてきたというものでございます。

以上でございます。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 バッテリーの管理ってどういうことなのでしょう。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 この小水力発電施設につきましては、水を使って発電をします。そこからコントロールする基盤のほうに入りまして、そこから蓄電池というところに入ってまいります。その蓄電池を經由しまして、四谷千枚田にありますトイレのほうに電気と、あと浄化槽用のブロアーのほうに電気を供給しておるというものでございまして、バッテリーにつきましては、年数とともに消耗したりということもありますので、そういったところのメンテナンス交換等を行っておるというものでございます。

以上でございます。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 メンテナンス交換はされてなかったから、ブロアーとか蓄電池は、現在はどうなっているのでしょうか。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 現在のところは、そこを流れます水量、水が、当初この稼働時期と比べまして水の量が相当量減っております。そういったこともありまして、今現在としましては、発電できる状態にないというところでございますので、この小水力発電施設を使ってトイレの電気、それからブロアーのほうに電気を供給するという状態にはないということでございます。

以上でございます。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 水量が減ってきたということは、急に、補正予算ですよね。ですから、3月の当初予算以降に水量が減ったということですか。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 水量が減ったというのは、今回、急に減ったというものではなくて、数年前から減ってきておるという状況でございます。

今、言いましたバッテリーの交換等につきましても、稼働してから経年劣化する状態にもありますし、水量のほうも徐々に減ってきたということで、思うような電気が確保できないというような状況にこのところなってきました。

そういったことから、この発電のほうにつきましても、今現在、休止という状態にあるということでございます。

以上でございます。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 水量が減ったということが分かってるのに、発電ができてないのに、これ、補正予算ですよね。ですから、これ何年も前からと今言いましたけど、何年も前から、水量が減ったり、発電をしてないの分かっているのに、急に補正予算で出すと、市長はさっき当初予算以降の緊急なものって言うんですけど、これどこに緊急性があるのですか。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 その緊急性の部分でございます。この小水力発電施設につきましては、今言った電気を供給するという側面もありますが、それ以上に、この施設を經由して田んぼへ水を供給をしております。

どちらかといいますと、この施設を經由して田んぼへ水を供給するといったところを、この施設を通ることによって適量の水が各田んぼに供給ができるということになっておりますので、今現在はそういった側面、役割としてこの施設はあるということでございます。

以上でございます。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 それは嘘ではないですか。

今も田んぼ、代かきをやって田植えの支度をしてたんですけど、小水力発電所のところには私行ってきたんですよ。水流れてましたけど、バルブがさびて動かなくなってるんですよ。これがなくても田植えができるんですよ。もう5月の連休のときに。

だから、これ言ってることと違うのではないですか。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 こちらが故障しているというのが分かったのが4月の下旬でございます。これまでも、今ちょうど田植えの時期と重なっております。そういったことで地元の方もこの施設から水を各田んぼへ今までも供給しておったというところで、今年も田植えの時期になったので、小水力発電施設のバルブのほうを見に行ったら。こうしたところ水が出ないということが分かったということでございます。

それが一点なのですが、それ以上に、今現在、確かにあの田んぼには水が供給されております。

今現在としましては、この小水力発電施設を経由して水を供給することはできないものですから、それよりも上ですね、農業用水の本管の部分がもうちょっと上流にございます。そちらのほうから直接田んぼのほうに供給しておるということでございます。

ただ分かりやすく、この場で言わせていただきますと、小水力発電施設を経由して田んぼへそれぞれ適量な水を送っておるところに、左側と右側という田んぼがあったとします。

そうした場合に、今回は上流の今言った用水の本管のほうから水を流しておりますので、それは直通といいますか、ストレートに下へ

落ちてしまいます。ですので、2つある右と左、例えばですけど、左側の田んぼには水が供給できるけども右側の田んぼにはなかなか供給がしにくい、できないという状況です。

たまたまこの間の休み、大雨が降ったということもございまして、今現在、水は今は豊富にありますけども、なかなかそういったことがない限り、通常ですと水が減って少ないという状況でございます。

以上でございます。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員に申し上げます。

質疑、修繕の関係になってまいりますので、今後の質疑者の中にも、長坂課長のほうから、費用対効果も含めて答えていただけるものと思いますので、修繕に絞っていただきたいと思います。

山田辰也委員。

○山田辰也委員 ちょっとずれてしまいましたけど。

これはあの、理由、今、いろいろ聞いたのですが、止まっている、水が来ないとか。これ誰から直してほしいという要望があったのでしょうか

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 我々としなくても、あそこの四谷千枚田というのは観光の側面からしなくても、今現在かなり誘客といいますか、来ていただける方がおります。

私、先週毎日向こうのほうに行っておりましたが、やっぱり他県のナンバーですとか、かなり来てくれる方がおります。

そういったところを含めて、地元の方、特に四谷千枚田保存会の方とはいろいろと交流、交流というか、打合せとかやらせていただいているんですけども、その中で四谷千枚田の保存会の会長さんのほうから、こういった状況だということを聞いて、それを踏まえて田植えの時期があるということで、早急に修理をし

たいということでございます。

以上でございます。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 私も行ってきたんですよ。そしたら、イギリスのBBCが四谷の千枚田はいいからという、観光には十分貢献してると思いますけど。

小水力発電所のことをちょっと聞いたんですけど、別になくても観光には影響ないと思うんですけど、先ほどから聞きますけど、小水力発電の施設のことを一生懸命言ってますけど、これ撤去しても何にも困らないと思うんですけど。

撤去は、これ修繕ですけど、これ修繕して本当に費用対効果が出るんですかね。その費用対効果についてもう一度言ってください。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 その費用対効果でございますが、今の小水力発電施設を経由して各田んぼへ水を供給しておるところでありますけども、それを通して水を供給することによって、地元の方にかかる負担というのが格段に減ります。そのバルブを調整することによって、適量の水が左右の田んぼへ流れていくということでございます。

ただ、これが使えないとなりますと、先ほど申しました上流の本管部分の用水のバルブを、今現在、地元の方に、まめに管理をして調整をしてもらっておるという状況でございます。

そうしたことから、地元の方からもそういった要望があって、早急に直していただきたい。田植えの時期と重なるんだということで、我々も認識しておりますので、今回、補正予算で上げさせてもらいましたし、その施設が果たす役割というのは、なかなか重たいものがあるかなと認識しております。

以上でございます。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 28万1千円のことについて、私文句言ってるんですけど、これ、小水力発電でなくても、バルブだけ直して、全く問題ないのではないですか。

先ほどから、小水力発電のあのバルブはちゃんとしてないといいますが、まめに管理するのは、これ百姓やってるのは当たり前のこととして、市がやることは、これが必要性があって直すかどうかなので、発電が当初の予定というのは県が造って、先ほどトイレの電気って言ってましたけどね。送水管ですね。でも、送水管といっても、小水力発電が動いてないのに、バルブを直したら動くのですか。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 動きは動きます、本川から取った水が自然流下で流れてきますので、物としては動きます。ただ、その施設を経由することによって、1本で入ってきたものを2本に分けて排水をかけていくということになりますので、それを経由することによって適量の水が田んぼに流れるということでございます。

そういった状況になっておりますので、我々としても修繕をしたいということでございます。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 適量の水を確保するっていうところがあるんですけど、先ほど、小水力発電が県のほうのときは電気をつけたり、トイレの電気ですね。行ってみたら、発電してないんですよ。別になくてもいいと思うし、そのトイレのところに行って電気をつけようと思ったらつかなかったものですから、ああ発電しないのかなと思ったんですよ。

そしたら、男性のトイレは球が切れてるだけで女性用のトイレは電気がつくんですよ。上には、電線が来てるものですから、その辺は止めてバルブだけにして、あそこの小水力

発電が動かないものがあること自体が観光の妨げになると思いますから、その辺は一度考えてほしいと思います。

私が思ったのは、県が造ったのに市がそれを受け持って、できたのがもう十何年たちますよね。ですから、普通に廃棄すればいいと思ってたんですけど、急に補正予算で上がってきたものですから、この補正予算が市長が言ったように緊急性の高いものかって言われたものですから。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員、質疑中、大変申し訳ないです。

先ほども注意をさせていただきましたが、質疑の内容からかなり広がっております。次に控える質疑者の中にも含まれておりますので、その辺、答弁者も含めて、注意を促したいと思います。

○山田辰也委員 はい。では、これで質疑を終わります。

○丸山隆弘委員長 よろしいですか。

山田辰也委員の質疑が終了しました。

次に、2番目の質疑者、カークランド陽子委員。

○カークランド陽子委員 では、第104号議案 令和5年度新城市一般会計補正予算（第2号）の歳出6款1項4目農業振興施設費、四谷千枚田多目的施設管理運営事業13ページについて伺います。

（1）発電した電気の現時点での用途と今後の見込みはということで、現時点の用途は先ほどの山田委員の質疑で理解いたしましたので、今後の見込みというところをもう一度ちょっとお願いいたします。

（2）本施設の費用対効果を含む事業の必要性と今後も続ける意義は、こちらも大方先ほどの理解したんですけどもう一度お願いします。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 まず1点

目でございます。小水力発電施設を活用した発電につきましては、先ほど申しましたとおり、現時点では休止をしておるところでございます。

休止の理由につきましては、先ほども申しましたとおり、設置の当初と比べまして、水量がかなり減っているということでございまして、設置当初のような発電ができなくなったということでございます。

それを踏まえまして、今後の見込みでございます。水量が設置当初のように増えてくれば、再び、トイレの照明、それから浄化槽用のフロアに利用したいと考えております。

それから、2点目でございます。この小水力発電施設につきましては、平成25年5月から稼働ということになっておりますが、愛知県が整備したものを、市が譲り受けて管理をこれまでしてきたというものでございます。発電施設としての役割もありますけども、先ほども申しましたとおり、それ以上に各田んぼへ水を供給するという重要な役割も持っている施設でございますので、引き続き、事業継続をしていく必要があると考えておるところでございます。

以上でございます。

○丸山隆弘委員長 カークランド陽子委員。

○カークランド陽子委員 理解いたしました。発電した電気は現時点では使用していないということで、今後も水量が増えてくれば使用する可能性はあるけども、分からないということ、水量によるということで理解いたしました。

あと、本施設の費用対効果を含む事業の必要性ということも、今は農業用水の、先ほども言ってくださった水を分けるのに必要だということでこの事業が必要だということですけども、ということはこれはもう小水力発電施設事業ではないということですか。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 今現在の状況から判断しますと、今現在は発電できてないという現実がありますので、小水力発電施設というものには、今なり得てないということになります。

○丸山隆弘委員長 カークランド陽子委員。

○カークランド陽子委員 あと、費用対効果とかそういったものも、思うんですけど、例えば今後、今の施設をそのまま維持するというのであれば、パイプ以外のほかの機能が何か故障したりなんかしたときに、発電としては使ってないにもかかわらず、そちらも修繕とかする必要が出てくる可能性があるということでしょうか。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 今現在は田んぼに水を供給したいというところが一番の目的になっておりますので、その田んぼに水を供給できないという部位のところが出てくれば、それは考えないといけないと認識をしておるところです。

以上です。

○丸山隆弘委員長 カークランド陽子委員。

○カークランド陽子委員 そうすると、結局、目的、使用用途は、発電としては今後、水が増えないと発電として使わないということは、ほぼほぼ発電として使用する見込みはないというふうに見ていいと思うんですけども、その場合、例えばそれを撤去なりして、パイプのその部分だけでも1回つけ直すということとかは考えてないのでしょうか、費用がかかるということかもしれないですけど。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 委員おっしゃられたとおりでございます。その手法も選択肢の1つではあると認識をしておるところでございますが、やはりあそこの施設見ていただいていると思いますけども、あれを付

け替えるとなると、また相当に費用がのすということもございますので、今現在あるものを有効に使っていきたいと考えておるところでございます。

○丸山隆弘委員長 カークランド陽子委員。

○カークランド陽子委員 そうすると、紛らわしいので事業名変えてもらいたいと思うところなんですけども、これ小水力発電事業ということでちょっと派生して伺いたいんですけども、当時この施設を設置したときに、先導的な、愛知県が農業用水を利用した小水力発電に特に力を入れてるということで、先導的な事例として広く小水力発電の普及を図ろうという思いがあったことだと思うんですけども、これが駄目だったというふうに私は理解したんですけども、この事業についてはほかでももう、つまりこの小水力発電というのは、本市ではもうあまり取り組んでないということでしょうか。

○丸山隆弘委員長 カークランド陽子委員、今の点も含めて、この第2点のところの事業の必要性、それから今後の事業を続けるというところも含めての質疑として理解させていただいてよろしいですか。

○カークランド陽子委員 そうです。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 今回、愛知県が整備した施設を活用させていただいておるところでございますが、このとき愛知県のパンフレットにも載ってはいるんですけども、県内各地でかなり複数の、さっき委員が言われたような状況を踏まえて県内でたくさんの方ができております。

そういったところを踏まえて、市の中では、大分規模は違いますけども、大島ダムとかそういったところでも規模が全然違う、容量とか全然違うんですけど、いろんなところでこの時期活用されたと認識をしておるところでございます。

○丸山隆弘委員長 カークランド陽子委員。

○カークランド陽子委員 では、ちょっとこの事業に関しては、事業の用途が変わっているということで名前を変更していただけたらいいのかなと思います。

小水力発電についてはいいことだと思うので、どういう今後の取組とかにも、あともしくはその効果とか、いろいろそういったものも調査して教えていただけたらうれししいなと思っておりますので、よろしくお願いします。

要望です。

○丸山隆弘委員長 カークランド陽子委員の質疑が終わりました。

3番目の質疑者、浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 それでは、私のほうは6款1項4目、四谷千枚田多目的施設管理運営事業13ページで、小水力発電設備の導水管修繕工事に28万1千円を計上された主な内容を伺うということで、1点ありましたが、先ほどの各委員の内容で大体分かったので再質問からさせていただきたいと思えます。

今の各委員の質疑で分かったのですが、結局はこの詰まった導水管を替えても、水は出るけれども発電はしないよと。その発電はなくて、取り替えると、各棚田に水を供給できるとそういう目的のために、この28万1千円を使いたいというような内容ということで理解していいでしょうか。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 委員がおっしゃられるとおりでございます。

以上です。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました。私自身も小水力発電というものに対しては、再生可能エネルギーって、非常に今後のエネルギー事業全体を見れば必要だし、普及はしていただければと思うのですが、こういう形で休止す

るといことは本当に残念だなという思いで、質疑に立たせてもらうのですが、そういう形で理解いたしました。

私も現場に行っただのですが、詰まった配管というのは、でんでんちゃんでしたか、その小水力発電施設よりも上なのか下なのか、上という理解でよろしいでしょうか

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 委員おっしゃられるとおり、でんでんちゃんより上ということでございます。

以上でございます。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました。

行っただときには、もう水すらからからで回ってないし、水も出てないということだったので、なぜかなと思ったんですけど、では、上の配管を取り替えるということで、それを取り替えると、発電はしないけれども水がじゃーっとでんでんちゃん通して、配管通して水が出るという状況になるということではなかったでしょうか。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 委員おっしゃられるとおりでございます。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました

そういう形で、この県、そもそもですけど、平成25年、僕も資料見ましたけど、結局、県に造っていただきましたけど、最大発電量が1キロワットしか出ないということで、ほとんど電気が出ない、これだったら太陽光発電を設置してもらったほうが、ほかの電線とか電力使えたのではないかなとちょっと思っていて、非常に小さ過ぎる電力ではないかというところで、本当に目的あったのかなと、本当にこの棚田に寄与するというよりも、結局隣のトイレの電気を回すだけの本当に小さな

小さな発電量を10年前にやっていたということですが、今、本当に必要なのかなというのはちょっと残念ですが思っ、今、質疑を聞いております。

そういう形で状況が分かったのですが、こちら今、目的としては、発電したものは隣のトイレということですが、今、トイレの電力等はどうなっているのでしょうか

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 今現在のトイレの電気につきましては、中部電力からいただいております。

以上でございます。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました。私も見て、電線がつながっていたので中部電力から今、引いてるんだなということで理解いたしました。

この水力発電の当初の目的は、発電した電気をためて隣のトイレに電源としてやるということでしたので、今、それが果たされてないと、休止中だということで理解をさせてもらいました。

そういう中で、本当にこの予算が必要なのかなというところで質疑をさせてもらってはいるのですが、そういう中で、水量がどんどん減って行って、ないというところで発電できないということでもありますが、現地見ると、バッテリーがもう取り外されてなかったのですが、このバッテリーはいつから取り外されているのでしょうか、伺います。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 すいません。詳細な時期につきましては、いつというのはちょっと認識というか、承知はしていませんけれども、少なくとも、もう2年程度はたっているという感じでございます。

以上です。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員に申し上げます。

質疑通告は導水管の修繕工事ということで、的を絞られておるようでありますので、よろしく願いいたします。その旨で質疑をお願いいたします。

浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました。小水力発電設備ということで水道管の詰まりを替えるということだったので、小水力発電がこれのできるのかなという思いでちょっと今回、臨んだものですから、そうではないよということで理解をいたしました。

バッテリーも2年も前から外されているということなので、2年前からそういった小水力発電の機能というのは持ってないと言わざるを得ないかなというところで理解をいたしました。

やっぱりそういうことでありますと、今回28万円ということですが、今、カーランド委員も話をしましたけど、私自身ももうその小水力発電施設という意味をなしてないという状況を踏まえたら、地元の方とも協議をして運用するかしないかも含めた予算立てをしてあげるといことが今回必要ではなかったかなと思うのです。

その配管とプラス、バルブで両方に分けるというような施設、施設というか、修繕のほうは分かりやすくよかったのではないかなと思うのですが、その点認識を伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 長坂鳳来総合支所地域課長。

○長坂茂英鳳来総合支所地域課長 確かに委員おっしゃられるとおり、名称としてはそういったきらいはあるのは承知しております。

ただ、今回の修繕箇所、部分につきましては、あくまで通称でんでんちゃん、小水力発電施設へ取り込む導水管、吸入管の部分で壊れておることから、でんでんちゃんに

通じる配管であるということから今回こうした名前での補正予算を出ささせていただいたんですけど、言われることはそのとおりだと認識しております。

以上でございます。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 それでは、続けて質疑をさせていただきます。

6款2項1目農業土木費、緊急改修事業15ページになります。

修繕料として、115万5千円が計上されております。主な内容を伺います。

○丸山隆弘委員長 内藤農業課参事。

○内藤徳之農業課参事 緊急改修事業の修繕料につきましては、田植えの時期に入りまして、農業用排水施設等の不具合により営農に支障が生じるとしまして、複数の地区から修繕の要望をいただいております。

さらに、今後予想される各地区からの修繕要望に対応するため、予算の追加をお願いするものでございます。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 緊急の、用水路だとかそういったところの修繕費ということですが、場所というのは具体的に分かってるのかどうか伺います。

○丸山隆弘委員長 内藤農業課参事。

○内藤徳之農業課参事 今年度に入りまして要望いただいておりますのは、片山地区、富永地区、竹広地区から要望をいただいております。いずれも農業用の排水路の漏水ですとか、また閉塞ということで、通水が困難ということで緊急の対応が必要なものばかりでございます。

以上です。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員の質疑が終わりました。

以上で、通告による質疑が終わりました。

ほかに質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

○丸山隆弘委員長 質疑なしと認めます。

歳出6款農林水産業費の質疑を終了します。

次に、歳出7款商工費の質疑に入ります。

最初の質疑者、齊藤竜也委員。

○齊藤竜也委員 第104号議案 令和5年度新城市一般会計補正予算（第2号）、7款1項3目観光振興費、大河ドラマタイアップ事業についてお聞きします。

（1）予算概要の詳細。

（2）どれぐらいの集客を想定しているか。

資料で分かった点もあるのですが、改めて、いっぱいこの後質疑すると思いますので、説明をお願いします。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 まず、答弁に先立ちまして、資料の修正について報告をさせていただきます。

資料9ページ、スケジュールについてです。応募期間につきまして、当初5月17日水曜日から5月26日金曜日の予定でありましたが、5月13日土曜日から6月1日木曜日に決定をしましたので、修正をさせていただきます。修正しました資料と正誤表の御確認をお願いしたいと思います。

それでは、答弁に入らせていただきます。

予算概要につきましては、トークショーコンテンツ料350万円、大河ドラマパネル設置費20万円、映像設備設営等設置費100万円、警備業務委託費30万円になります。

具体的には、トークショーコンテンツ料は会場使用料、出演料を含めたトークショーにかかる経費となり、大河ドラマパネル設置費は大ホールロビーに等身大パネル等を設置する費用となります。また、映像設備設営等設置費はドラマ撮影風景等を上映するための上映機器及びスタッフ費用、警備業務委託費は会場内及び会場周辺の案内員、駐車場整理員の費用となります。

集客につきましては、大ホール定員1,300名に対し、映像機器で占有する座席数

を排除した1,200名を予定しております。

○丸山隆弘委員長 齊藤竜也委員。

○齊藤竜也委員 資料のほうでも確認させていただきました予算概要の内容ですけれども、トークショーコンテンツ料とか、設置費とかざっくり今お聞きしたとおりですけれども、今回の事業がそもそもNHKとの絡みがあって、そういったところがあったのかどうかということと、そういった場合このトークショーコンテンツ料というのは、いわゆる出演者等そのイベント費用ということですよ。そのイベント費用の支払先というのはどこになるのですか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 NHKとは関係をしております。

今回トークショーの主催団体と言っているんですかね、主催をされるのはNHK財団となりますので、そちらのほうに支払いをすることになります。

○丸山隆弘委員長 齊藤竜也委員。

○齊藤竜也委員 そうすると、このトークショーコンテンツ料というのはNHK財団に支払って、要はそのNHK財団がイベントをやるために、恐らくこの経費の中から出演者だったりとか、そっちのほうにお金が行くというそういう流れになりますか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 委員のおっしゃるとおりになります。

○丸山隆弘委員長 齊藤竜也委員。

○齊藤竜也委員 予算の概要に関してはよく分かりました。そういった形だったらこれぐらいかかるだろうなと思いますけれども。

次に、(2)の集客想定ですけれども、1,200名を想定しているという中で、事業効果の中に、全国に当市をPRするチャンスと考えているということなのですが、これ市内市外どういうふうな想定をしているとかありますか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 市内市外という分けは考えてはおりません。

○丸山隆弘委員長 齊藤竜也委員。

○齊藤竜也委員 そうすると、PRの仕方とか、ここに書かれていた、例えば出演者のSNSだったりとかという発信力のあるものを使ってというところが想定されると思うんですけども、そもそも、どうする家康10%前後で推移していますので、いわゆる全国へのPRという意味の前にこれをやりますよというようなPRとしてはちょっと弱いのが、この事業だとは思っています。なので、ここはもうしっかり振り切って市民にしっかりPRしたほうがいいかなと思うんですけども。

PR方法について、この集客をするために、新城市内は、いわゆる新城市民の皆さんにはどのような告知をしていきますか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 周知の方法に関しましては、市の広報紙をはじめ市のホームページ並びに公式SNS、市観光協会のホームページ、あと記者への投込み等を考えております。

○丸山隆弘委員長 齊藤竜也委員。

○齊藤竜也委員 そうすると、やっぱり市外が強くなると思うんですよ。

いわゆる記者への投込みと観光協会のホームページ、観光協会のホームページは新城に来たい人たちが見ますよね。市のホームページとかSNSというものも、それにチャンネルが合っている人たちが見るという形になります。

そうではなくて、どうする家康に対する関心の低い市民もまだいると思うんです。そういったところをしっかりと集客したほうが当然来ると思いますよ、近くですし。

昔、シャ乱Qが突然、新城に来たとき、私、中学生で行きましたけど、あのときもシャ乱Q知らない人いっぱい行ったじゃないですか。いっぱいになりましたよね、ホールが。

それぐらいのことやらないと、恐らくその1,200名をいっぱいにするっていうところまではいかない。これは、どうする家康という大河ドラマ自体が、本当に今回、いいチャンスになってるんですけども、これを新城市がつかむかどうかというところは、対外的なPRというよりは、市民にしっかりと認知をさせてやっていく。我々もそういったことをやってきてますし、ほかの団体、観光協会だったりとか青年会議所だったりも、市内にしっかりとPRするというところに力を入れると思うんですよ。

そこにしっかりと乗っかっていくためには、このPR方法だとちょっと弱いと私は思うんですけど、改めて市内のPRということもしっかりと再考することはできますか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 再考させていただきたいと思います。

○丸山隆弘委員長 齊藤竜也委員の質疑が終わりました。

2番目の質疑者、柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 齊藤委員の質疑において理解したところもあるのですが、その上で、改めて再質疑を行わさせていただきたいと思います。

岡崎体育さんは、DTM作曲家であり演者としての実績はこれから期待されている人材だと認識しております。ポケモンというアニメーションの制作に参加するなど、声優さんとしての実績や御自身のミュージックビデオには出演されているなど御活躍はあると思います。

しかし、その辺を執行部としてはどのように捉えているか伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員、質疑通告に沿ってお願いしたいと思います。

○柴田賢治郎委員 ごめんなさい。

第104号、そうだね、再質疑。

事業の内容を伺うというところですが、有

名人の知名度を使うというところにおいて、その辺の認識はどのようにあるのかというところで、先ほどの質疑をさせてもらいました。

岡崎体育さんの認識をちょっと執行部としてどのように捉えているか伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員、3点通告されておりますので、その順を追ってお願いいたします。

○柴田賢治郎委員 ごめんなさい。分かりました。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 第104号議案 令和5年度新城市一般会計補正予算（第2号）、歳出7款1項3目観光振興費、大河ドラマタイアップ事業15ページになります。

1、事業の内容を伺う。

2、実施日の決定プロセスを伺う。

3、事業の効果と市民が受ける受益をどのように捉えているのか伺う。

その中で、1は再質疑から入りたいと思います。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員、質疑はまず終了ですね。

横山観光課長。

○横山和典観光課長 事業につきましては、鳥居強右衛門役、岡崎体育さん、亀姫役、當真あみさん、制作統括、磯智明さん3名のトークショー並びにパネル展を開催します。

トークショー開催日時につきましては、6月11日曜日、午後2時から午後3時まで、場所は新城文化会館大ホールで行います。

パネル展につきましては、同日午後0時30分から午後4時までを予定して、大ホール1階ロビーで開催をします。

決定したプロセスにつきましては、トークショーにつきましては、昨年度12月に観光課よりNHK名古屋放送局へ依頼をしております。放映日や配役が決まっておりませんでしたので、決まり次第調整をすることとなり、

3月23日に岡崎体育さん、當真あみさんのスケジュールを6月11日に押さえることができたため、6月11日開催と決定をしております。

事業の効果につきましては、鳥居強右衛門、亀姫をきっかけに、当市を全国にPRできるチャンスと考えております。

鳥居強右衛門、亀姫は地元では知られておりますが、全国での知名度は低いと思われま。この大河ドラマでSNSでの発信力のある2人が演じられ、さらに当市を訪問されることで、鳥居強右衛門、亀姫と新城がつながり、ドラマ放映だけでなく、SNSでも広く全国へ発信されることとなります。

このことが事業の効果であり、市民が受ける受益に今後つながると考えております。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 それでは、素直に。

岡崎体育さんはDTM作曲家であり、演者としての実績はこれから期待されている人材と認識しております。ポケモンの制作に参加するなど、声優としての実績や御自身のミュージックビデオに出演されることなどの活躍はあるが、執行部としてどのように認識されているか伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 委員のおっしゃられるとおり、岡崎体育さん、今、魅力的な俳優さんだと思っております。

ツイッター、インスタでもかなりのフォロワー数をお持ちですので、こういった方が鳥居強右衛門を演じていただくことで、市のPRにつながると考えております。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 彼の楽曲として、「留学生」というものがあったり、「龍」という楽曲があったり、私も長らく彼の活動について親しんでおったところがございます。

そのような中で、若者に人気ということを期待されているとするならば、それを曲的に感じる、そのような意見もあると思います。

それら知名度があると判断した理由、伺いたいと思います。フォロワー数だけ。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 知名度という点では、やはりこのフォロワー数がかなりあるということは重要なとと考えております。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 市民が新城市にさらなる誇りを持てる楽しいイベント内容になっているのか、その辺をもう1回確認させてもらいたいと思います。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員、この3点の中のどの点で再質疑になっておりますか。

○柴田賢治郎委員 事業の内容なのですが。

○丸山隆弘委員長 分かりました。

横山観光課長。

○横山和典観光課長 トークショーで新城市のことを語っていただける部分もあると思いますので、そういったところになるかと思っております。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 観光ということでは、やはり我々のアイデンティティー、新城市でどのようなことが起きたかというのを市民で再確認するというのは大切な機会だと思います。今の言葉に集約してるとは思いますが、それらに向けてもしっかりと練っていただきたいと思っております。

その中で、先ほどの齊藤委員の話でもありましたが、市外の人がこれをきっかけにして、新城市に興味を持って足を運んでもらえる努力について詳しく広報するのか、伺いたいと思っております。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 今後につきましても、そういったような広報をしていきたいと考えております。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

どの点で再質疑となるのか、そこを踏まえて。

○柴田賢治郎委員 1の事業の内容について、引き続き確認をさせてもらいたいと思いますが、桜淵の駐車場のことについて、同日、文化会館を使うイベントというのがほかにあるのか、そのことを把握されているのか伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 小ホールにて、劇団風の子「ギャング・エイジ」新城公演があり、そちらのほうに先に予約をされておりました。把握はしております。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 そういう他のイベントとかぶるといことで、駐車場のことが懸念されております。

そのことをどのように措置していくのか、また、高齢者や障害を持った人へのフォローをどのようにしていくのか伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 先ほどお伝えしました小ホールでのイベントのほうに先に予約をされておりましたので、文化会館の駐車場につきましては、そちらの方を優先とさせていただいております。

ですので、駐車場が周辺にありませんので、桜淵公園を考えております。移動は徒歩での移動になりますので、そういった高齢者の方とかは送っていただくということをしていただければと思っております。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 また、次の2の実施日の決定プロセスについて、再質疑、伺いたいと思います。

このタイミングでなければいけない理由として、大河ドラマとの関係は大きなものです。ならば、NHKとは今回のイベントとパートナー取引みたいなものを試みたのか伺いたいと思います。

例えば、岡崎体育さんが、鳥居強右衛門を

訪ねる映像をどうする家康虎の巻という時間帯がありますので流してもらおうなど、また、情報番組あさイチなどで岡崎体育さんを取り上げてもらって、そのときに新城での交流の模様を流すなど、浜松のお祭りの模様がNHKで放送されることが決定されたと、NHKからも発表がありました。

そのようなイベントに続く内容があるのか、伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 そういったような放送はありません。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 そういう意味では、今回、演者さんが来ていただいて、トークショーのみのイベントになっているのか、その演者さんがこの新城で何らかの活動をして、それをNHK側なり、また、この新城側なりが撮影するなど、そのような機会があるのか伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 出演者の方が当日午前中に少し時間を取っていただけることになっております。その中で、ゆかりの地ということで今、お墓等の訪問を考えてはおります。そのお墓等訪問される際には、取材はオーケーと伺っておりますので、そちらのほうで新聞、テレビなどが取材をしていただいて放映されればと思っております。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 私も、パートナー取引という言葉を使わせてもらいましたが、NHK財団のほうに払う、それ以外であれば、演者さんと直接ということもあったのかもしれませんが、このタイミングでNHKに払うということを考えれば、やはりその放送のところの時間枠をいかにもらうのか、その努力は必要だったと思います。

多くの市民とこの機会を楽しむためには、放送前に周知して、放送を楽しむことが一番

に来るべきであったと思います。猿橋などが映像に流れたことに対しては、事前に知らせてほしかったという市民意見が多かったと、そのように思っております。

私は、放送日にパブリックビューイングをするなど、市民と一緒に、岡崎体育さんの鳥居強右衛門を楽しむ機会をつくる必要があったかと思っております。そのような議論がなかったのか伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 パブリックビューイングにつきましては、観光課のほうでは予定はしておりませんが、資料館のほうで予定をしております。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 私は、亀姫役の当真あみさんと会える機会であることも期待しております。しかし、今回のタイミングでは、放送との兼ね合いで十分にお話いただけないものがあるかと、そのようにも思っております。

そのことを懸念して、ドラマの終盤の機会までタイミングを図るなどの議論はなかったのか伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 この機会だけとなります。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 私が聞いたのは、そういう議論があったのかということだったんですけど、先ほどの内容でこの機会だけということとは分かったんですけど、そういうことを考慮すべきであったと思いますので、今からでも、そういうことも含めて、演者さんのトークショーイベントをしやすいような環境をつくっていただきたいと思っております。

開催時期を1年ずらせば、市民文化講座などもっと自由に、同じ予算でも回数多くできるかと思っております。

そういう意味では、先ほどのNHKに支払うということをどのように捉えて、そのこと

に対してのメリットをどのように捉えているのか、もう一度伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 柴田委員、今の2番の点か、3番の点かどちら。

○柴田賢治郎委員 2番の点です。

○丸山隆弘委員長 分かりました。2番からです。

横山観光課長。

○横山和典観光課長 この2人を呼べる時期というのが、やはり今回のこのタイミングしかないと思っておりますので、今回が最適な時期かなと思っております。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 私も、役者さん自体を呼ぶというのは、先ほども言いました文化講座とかそういうところでも呼べる可能性は十分にあると思います。

ただ、このNHKのドラマの期間中に、もしくはNHKのドラマとタイアップした状況でということであれば、この機会しかないのかなというふうには捉えております。

その辺の認識は強く持っていて、500万円の中にそうすべきだという理由を理解しかりしていただいた上で、予算の執行をお願いしたいと思うのですが、今のところその思いがちょっと希薄なのかなという印象を受けました。

それでは、3の事業の効果と市民が受ける受益をどのように捉えているかというところについて、再質疑で伺いたいと思います。

他市との比較をどのように捉えているかを伺いたいと思います。浜松、岡崎までとは言わないまでも、500万円近くのイベントをした地域もあるかと思っております。そこの比較で、先ほど、齊藤委員の答えの中でも予想する集客も言われておりましたが、当市の予想と照らし合わせたことがあるのか、その辺を伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 同規模程度のトークシ

ョーにつきましては、刈谷市で5月21日に予定をされております。

予算につきましては、やはり刈谷市のほうが少し多く取られてるというお話は伺っております。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 もう1つ、刈谷市の予定する規模と、もしくはまた実績を踏まえた議論ができるのか伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 刈谷市のほうでは1,300人を予定しておるということは把握しております。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 分かりました。

3の事業の効果と市民が受けれる受益をどのように捉えているかというところで、私は大河ドラマのタイアップということでこのタイミングであることに一定の理解をしております。しかし、市民の中には、単発で終わってはいけないという声もあり、私は多くの方がと言いたいとは思いますが、その人たちの声を聞くと、これを機に岡崎体育さん、もしくは当真あみさんに親善大使になってもらって、長い付き合いをしたほうがよいという捉え方もあります。

例えば、岡崎体育さんに盆ダンスを手伝ってもらうことなど、当真あみさんと亀姫の法要をするなど今後の事業につなげられるように関係性が保てるのか、その辺をこのイベントの中で行えるのか伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 委員のおっしゃられるとおり、そのような関係が築けることを考えてはおりますので、ただ実際できるかどうかというのは分かりませんが、そういったお話をさせていただきたいと思っております。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 ここまでに、岡崎体育さんのツイッターを拝見すると、鳥居強右衛門

の配役が決まった以後、その配役が決まったことについて2回ほどつぶやいておられます。ただ、新城という名前はまだ今のところ一度も決まっておりません。このイベントが取り出されたこともないと思っております。

彼らの知名度を利用させてもらうようにするのであれば、新城市民との交流を御自身のアカウントで発信してもらうようお願いできるのか。そのようなことも含めてできるのか伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 その点につきましては、確認をさせていただきます。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 先ほども言いましたこのイベントはイベントとして行われるとは思いますが、その中で、そのイベントを後に続けられる、500万円の価値を、後にも続けられるようにということでは、先ほどは撮影の状況を報道に任せてというようなことを言われておりましたが、それらのメイキングビデオを新城側で用意して、それをまたロビーで流すとか、また記念グッズを配布するとか、そのような考えがあるのか伺いたいと思います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 こちらのほうでメイキングビデオ等をつくることになりますと著作権の問題とかも出てくるかもしれませんので、そちらは確認をさせていただく必要があるかなと思っております。

また、グッズ等のほうも同じになると思います。

○丸山隆弘委員長 柴田賢治郎委員の質疑が終わりました。

次に、3番目の質疑者、山田辰也委員。

○山田辰也委員 では、7款1項3目新城観光振興費、大河ドラマタイアップ事業15ページ。

トークショー事業の経緯と費用対効果をどのように捉えているか。

2問目から行きたいと思います。

先ほどいろんな質問があったのですが、私、ポケモンにも興味がないし、この当真さんと体育さんにも余り関心のない市民と思って質疑させていただきたいと思います。

この500万円のことについて、朝の交通当番で行ってるときに聞いたら、誰も知らないって言うんですね。こんなことを500万円も使っているのかということから行きたいと思いますけど。

これ、話があったのはさっき3月と言いましたけど、3月のいつ頃この話があったのでしょうか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 3月23日になります。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 いや3月23日だったら、議会のほうにこういう話があるというのは、言ったか言わないか、私記憶ないんですけど、こういう計画について議会のほうには、そういう話はしましたでしょうか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 そういった話は申し上げてありません。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 予算を伴う補正予算ですよ。議会を無視して話を進めたってわけでしょうか。

こんなことね、そうは言いましたけどね、だけど、こういう話があったというのは、もっと密に連絡する必要があったのではないのでしょうか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 その点で、今日こういった臨時会を開いていただいていると思っております。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 いや、刈谷に電話したら、さっき言いましたね、刈谷も同じようにイベント、これ補正予算ではなくてちゃんと当初

予算に入ってるっていうんですね。

新城市は、補正予算に通せば全部通ると思って、そういう考えで今日発表なんですか。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員に申し上げます。

今回の上程されているものは、臨時会として流れを酌んで議会運営委員会を踏んで、本日になっておりますので、その点、容赦願います。

○山田辰也委員 はい。

○丸山隆弘委員長 先ほどの発言は、こちらでまた調査をさせていただきますので、よろしくをお願いします。

○山田辰也委員 はい。

○丸山隆弘委員長 質疑を続けてください。

○山田辰也委員 話があったということで、ですけど、この話というのは、NHKが持ってきたのですか、NHKの関連会社の、さっき言ったNHK財団ですか。それとも、この観光課のほうを考えて、こういう企画はどうですかと、どういう計画だったのですか、当時。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 先ほど申し上げさせていただいておりますが、昨年12月頃に観光課のほうから、NHK名古屋放送局にお話をさせていただいております。

その後、配役等が決まりましたので、6月11日に決定をしておる次第であります。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 12月頃、話を市のほうから持っていったというわけなんですかね。今そう言いましたが、確認したいんですけど。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 はい、12月になります。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 いやだから、補正ではなくて、当初予算で出すべきだと思うんです。そういう話こっち置いといて。

12月に話があって、今日、補正予算なんで

すよ。内容を今日、聞いてるんですけど。

これ計画書というのは、当初からできてたわけでしょうか。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員に申し上げます。

先ほど、柴田賢治郎委員の質疑の中で答えております。昨年12月に観光課より話があって、3月23日にスケジュールが6月11日になるということで押さえたということが、先ほど発言がありましたので、そこのとこから再質疑に入ってください。

山田辰也委員。

○山田辰也委員 向こうでスケジュールが取れそうなので、さっき話をしたんですけど、岡崎さんとこの当真さんですか。

予算を計上するのに計画書が本当はあると思うんですけど、先日うちの知り合いの方が電話をしたら、計画書というのはまだないと言ったんですよ、今日の12日に分かるって。10日に計画書がないのに今日分かるんですか。

予算を立てるに当たって計画書は作ってあったのでしょうか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 計画書につきましては、どういったスケジュールで進むというのはあるのですが、まだ報道発表の前ということで市民の方にはお答えできなかった状態になります。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 スケジュール表なんていうのは、向こうがつくるものであって、どういう効果があるかという計画書を立てて予算を立てるのではないのでしょうか。予算が来てから計画書を立てて、向こうからそろえたものを見て、今、発表してるのではないですか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 補正の予算を上げておりますので、そこに計画というものがあると答えました。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 いや、だから500万円、計画を立てたでしょう。12月に話をしたというんでしょう。

12月に、NHKのドラマやってるの分かってるのだったら、どういう費用対効果があってどういうふうにやっていくかって、そういう計画書を出して、それに対しての予算ではないですか。今、向こうから話を持ってきて、500万円あるからそれに対しての説明をするだけではないですか。

で、一般市民の方がどんな計画なんですかって聞いたときに、まだありませんって言うてるんですよ。これまだありませんなんて本当なのですか。私、昨日電話があったんですけど、予算を立てるのに計画書がないのに金額が決まって本会議の補正予算で出すなんて、これ冗談じゃないですよ。

議会のほうに計画書とかそういうのを、私、見てませんよ。どうなんですか、作ったんですか。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員の質疑、再確認させていただきます。

トークショー事業の経緯、また費用対効果の中について、今の質疑の内容はということによろしいですね。

○山田辰也委員 そうです。

○丸山隆弘委員長 それにおいての再質疑ということでもいいですね。再確認ですね。

○山田辰也委員 はい。

○丸山隆弘委員長 再確認の答弁、もう一回お願いします。

横山観光課長。

○横山和典観光課長 予算書に計画してあるとおりになります。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 違う、まあいいです。予算書に計画したとおりにって、それでは計画書なしで予算を出してきたわけですよ。

これって、ほかのところも同じようなトークショーやってると思うんですよ。刈谷にち

よっと今朝、聞いたんですけど、これ観光協会が主になってやってるんですけど、刈谷は当初予算で出してるっていうんです。新城市は補正予算なんですよ。計画性がないからこうなったのではないですか。

ですから、刈谷はって言うてましたけど、刈谷は同じようなトークショーの予算幾らだったか調べたのですか。お願いします。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 刈谷市から700万円程度というのを聞いております。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 できるだけそれないようにしますけど。私、今朝、聞いたときに500万円ぐらいだっけ聞いたんですけど、調べてみないと分からないんですが。

刈谷の人口は15万人ぐらいいるんですよ、新城市の4倍ぐらい。新城市も何でこのトークショーに呼んでいた芸能人で、同じぐらいなんですか。これ、みんなが言うには、知らない人たちの、新城市4万人なんですよ。4万人規模で1,200人、それで、刈谷は1,300人、5月21日もういっばいだっけ言ってますけど。

新城市、さっきも言いましたけど、桜淵の駐車場に置いて歩いてこいって、いやこんな適当な計画なのですか。ちゃんと交渉したのですか、私、その交渉したことを聞きたいです、この予算についての、お願いします。

○丸山隆弘委員長 答弁者、費用対効果ということで、観光課のほうからよろしく答弁お願いします。

横山観光課長。

○横山和典観光課長 刈谷市では、出演される方1名と制作統括の磯智明さんという方の2名のトークショーとなっており、新城市のほうでは当真あみさんと岡崎体育さんの2名と制作統括の磯智明さんということの3名でやっていただくことになっております。その部分で少し金額の差というのが、もしかしたらあるのかなとは思いますが。以上になりま

す。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 柴田委員のときも言いましたけど、これ私、市民が聞いたら500万円もかける必要があるのかって言うんですよ。

で、内容にいろいろあったんですけど、私、気になるのは、出演者に払われる出演料ですね、これ幾らなのですか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 すいません。そちらについてはこちらでは把握できません。NHK財団のほうから払われますので。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 昨日、私の知り合いが聞いたときは、岡崎さんが300万円、当間さんが100万円というようなことを聞いたら、大体そうですねって言ったんですよ。市民の方には電話で言って、僕らの議員には金額幾らなのですか、もう一度言ってください。金額入ってますか。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員、話できないということで先ほど答弁しましたけれども、観光課もいいですか。

山田辰也委員。

○山田辰也委員 1人幾らなのですか。

分からんっていうのに市民には答えてるんだよ。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 すいません。市民のどなたから聞かれたかが少し分からないので、その点については、こちらでは把握はできませんけれども、トークショーのコンテンツ料として350万円を予定しております。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 トークショーのコンテンツ料ですね。どんなコンテンツなんですか。

○丸山隆弘委員長 それは再確認でよろしいですか、山田委員。

○山田辰也委員 はい。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 トークショーコンテンツ料につきましては、会場使用料、出演者料を含めたトークショーにかかる経費となります。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 いや、市民の税金を払うのに、トークショー全体でなんていう話は私、どうも聞かれたときに説明できませんよね。あそこの大ホールが10万円も20万円もするとは思えないですし。コンテンツですね、内容ですね、紹介が300万円もするような、とても私、分かりませんね、これ。

普通、お金を払うほうは明細をもらうんですけど、こんな簡単な明細で税金をつぎ込むということですよ。

私、思ったのは、本当にこの金額について精査したのですか、話し合いはどのような話し合いをしたのですか、このコンテンツ、トークショーは。

トークショーの内容はいいですよ。楽しかったとか、私、新城市知らないけれど、ここに来てやりますって、ほのかに書いてありましたよね、ちょっと。

だから、お金を使う明細について教えてほしかったのですよ。じゃあ、何とか一式でいいのですか、これ。

だから、普通は、誰々幾らというのは分かるんですけど、さっきの答えでこの事業、トークショーコンテンツ料幾らなんですか、もう1回、内容については見てないのですか。お願いします。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員、先ほど齊藤委員のところで答えておられます。それをもう少し詳細にということによろしいですかね。

○山田辰也委員 はい、もう少し。

○丸山隆弘委員長 詳細にもし答弁できるならばということで。はい、分かりました。

それでは、観光課のほうよろしいですか。横山観光課長。

○横山和典観光課長 先ほど齊藤委員にお答えしたとおり、会場使用料と出演料含めたトークショーの経費ということで理解をしております。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 いやそんな、そんな説明で一般市民どうやって言うんです。

これNHK財団のほうからこういう仕事のパッケージがあるから500万円で受けてくれて言ったのではないですか。そうやって市民の方、言いますよ。

話し合いをした結果、こういうふうになったというのはとても思えないんですけど、どうなんですか、これが妥当な金額だったというわけですね。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 妥当な金額だったと理解をしております。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 妥当な金額だということなのですが、刈谷は寺島さんですか。新城市は2人来ると、人数が多い。時間は、刈谷は2時間ですね、新城市1時間ですよ。1分当たり5万円ぐらい払うんですよ、1時間だったら。それが妥当だというふうな見解でしょうか、もう一度聞きます。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 刈谷市のほうは2時間となっておりますが、その中、寺島さんが出られる時間は1時間であったと思っております。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 いや、トークショーで新城市を有名にしようというのに、じゃあなんで、奥平信昌ですね、それと、鳥居強右衛門。これ、刈谷のほうはその末裔が20代目当主と書いてありましたね。新城市はそういうことまで考えなかったのですか。芸能人の発表会ではないんですよ。

新城市のことを考えたら、トークショーの

内容に入ったら、鳥居強右衛門の末裔とか、奥平家の末裔、何でそういうことを考えなかったのですか、全く考えてないということなのですか、伺います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 委員のおっしゃられるとおり、そこまではちょっと考えておりませんでした。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 これ12月に始まると言ったんですよ。それで補正予算で500万円ですよ。計画書もろくに作ってない。もらったものをそのまま500万円をいただいて、場所を確保して、駐車場が桜淵。桜淵、何分かかると思うんです、歩いて。それで、刈谷が15万人もいるのに1,300人で、新城市は4万4千人、3月に生まれたのは4人か5人なんですよ。同じ規模で考えるって、何を考えてるんですか、観光課は、夜遅くまでやっとして。文句言ってるわけではないですよ、正しいと思ってるんですから。

出演料の内訳も分からない、どんなコンテンツもはっきり分からない。だけど、新城市を知ってもらおう、岡崎体育さんどんな人ってね、私知りませんよ。当真あみさん、コマーシャル出てるって。

いや、そんなことも観光課が知らないで500万円の計画を出して予算を通すなんて、聞いている市議会議員はね、いつも素通りかって今朝、言われましたよ。

もう一度言いますけど、じゃあ考えてないですね、1時間だけのトークショーで500万円使うというのは。どうなんですか、警備は書いてあるんですけど、警備のお金もNHK財団に払うわけですか、お金のこと言いますけど。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 警備については、NHKに払う経費ではありません。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 じゃあ、どこへ払うのですか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 委託先になります。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 委託先ってどこですかと聞いているのです。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 すいません。まだ、決まっておきませんのでお答えができません。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 新城市は、予算が通らなくてもバスで広告を入れたり、急に出してきて賛成してくださいって通して、通るから大丈夫だって、そうやって市民言ってますよ。

警備会社、新城市ありますよ、新城市だって。全部委託出したらどうするんです、新城市の関係者を使って、関係の会社を使ってNHK財団に払えば新城市に効果があるんですか。もう1回ちょっと聞きますけど。

知ってもらうなんて、トークショーでそんなに知ってもらえる自信があるんですか。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員に申し上げます。

齊藤竜也委員のところで、詳細については述べておられます。その中で、コンテンツ料に含めて、より詳細な答弁を求めているということで理解してよろしいんですか。

○山田辰也委員 はい。

○丸山隆弘委員長 分かりました。では、このところに絞って答弁をお願いします。

ちょっと繰返しになるかも知りませんが、横山課長、いいですか。

横山観光課長。

○横山和典観光課長 先ほどもお答えさせていただいておりますけれども、鳥居強右衛門、亀姫は地元で知られておりますが、全国での知名度は低いと思われま。

この大河ドラマでSNSでの発信力のある2人が演じられ、さらに当市を訪問されるこ

とで鳥居強右衛門、亀姫、そして当市がつながり、ドラマ放映だけでなく、SNSでも広く全国へ発信されることとなります。このことが事業の効果であると考えております。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 いや、そんなものは向こうがつくったんでしょう。向こうがつくったパッケージの中のやつを読んでもるだけではないですか。

さっき計画書もろくにもないのに予算だけ出して、向こうのパックでもらったやつを計画を組んだから、それを読んでもるだけではないですか。市は、それでは何を考えたのですか、効果は。向こうが書いてあるやつを読めって言うてるわけじゃないんですよ。

観光課としてはどうやってこの効果を波及させて、新城市に知られてる。柴田委員も言ってたでしょう。これだけで終わらせるんですか、一過性で500万円使って。来年だって別にいいじゃないですか。

これで買ってくれて、そのままのみにしたんじゃないですか、私そうやって市民に言われてますよ、この500万円。こういう計画があるから、こういうのでどうですか、岡崎さんと當間さんの予定が取れたんですよ。話合いは、計画書がない。お金の交渉もしてない。全部業者に振って、内容はいいね、言われたら言われたまま、違いますか。ちゃんと計画書はあって、本人と直接話合いもしてないでしょう、当然。NHK財団が出してる、そこと話し合って、直接プロダクションと話をしてないはずですよ。だから、こんないい加減なもの出してきて。これ出したら通ると思ってるんでしょう。

さっき言ったでしょ、僕。何で、長篠合戦のぼりまつりのときに、当主が、今、過去に江戸時代の後に、奥平が引っ越してたっていうんですけど、知ってますよね、奥平藩というのはどこに最後に行ったかというのは、ちょっと聞きたいですよ、私。その先のことま

で。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員、質疑絞ってください。

○山田辰也委員 私、聞いたのは、十何年前に、のぼりまつりのときは、奥平の当主の末裔が来てもらってた。鳥居強右衛門も末裔がいる。さっき何も考えてないって言ったんですね。何も考えてないトークショーで、これNHKの視聴率が下がったのを宣伝効果だけではないかってこうやって言う人、いるんですよ。宣伝効果のために500万円使って、千人集まります、本当に。

そういうことまでちゃんと計画してるかと聞いているのですよ。計画書もないようなものを出してきてもらっては市民は困ります。

今後、どういう展開にしていくかというのが、このトークショーの後はどうなのですか、説明してください。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 今後、令和7年には長篠設楽原の戦い450年を迎えることとなっております。そこに向けた取組を考えていきたいと思っております。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員。

○山田辰也委員 いや、取組を考えてるなんて当たり前ですよ、観光課ですからね。具体性が全然ないじゃないですか、愚痴ばっか言ってますけど。金を使うのに当たってちゃんとした計画性と、ちゃんと市民へできない状態でこれをNHK財団から話が持ってきたから、はい、受けましたでは、これ困りますよ。

市長ももうちょっと考えてくれないと。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員に申し上げます。質疑の趣旨に沿って、進めてください。質疑、終了しますよ。

○山田辰也委員 あと1つだけ伺わせてください。

私が思ったのは、この計画がもっと前からちゃんと出てて話を進めていくならいいですよ。急に持ってきて議会に出して、これ通る

前提でこういう話をしていると思うのです。

だから、いろんなところでやってるやつを見て、まねして、そのままのみにしてると私は思っています。

NHK関連の営利会社への視聴率アップを狙った、これ、言い方が悪いですけど押し売りを、しかもその費用は、市が全く考えてなくて出た分だけ持つという、こういうことを市民がばかげると言ってるんです。

岡崎体育さん、当真さんが有名かもしれませんが、市民の中には知らないという声が非常に多いのです。

最後に言うんですね。出演料の交渉とか何もやってないんだってこと。それで、今後の展開も考えてないと。これで、本当に今回の短い間に集まる自信があるのですか。集客率、集客どうやってあの計算したのですか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 1,200人集めます。

○丸山隆弘委員長 山田辰也委員の質疑が終わりました。

4番目の質疑者、浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 それでは、質疑を始めます。

同じく大河ドラマタイアップ事業15ページになります。

質疑通告では、1番として500万円計上されておりますが、主な内容を伺うというのが1点と、2点目はこの事業の期待される効果を伺うということ、3点目は6月11日に行われるトークショーの会場運営や録画配信等の準備の計画を伺うということにさせてもらっております。

まあ、先ほどの議論の中で1番の内容は、大体分かりましたので、2番、3番をお願いしたいと思います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 2番につきましては、先ほど柴田委員へお答えしたとおりとなります。

3番につきましては、会場の運営につつま

しては、ステージ上で行われるトークショーの運営はNHK財団が行います。それ以外の運営は市が担当することになっております。

録画配信等につきましては、NHK財団に確認をしましたが、予定はありませんということでした。取材等は可能ですので、広くメディア等に周知させていただきたいと思っております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました。

それでは、再質疑をさせていただきますが、まず、そもそもこれはNHK大河ドラマとタイアップというところで、この計画というのは、市のほうから持ち込んだ計画なのか、財団から持ち込んだ計画なのか、どちらなのか伺います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 話は、市から12月にお話をさせていただいて、そのときにいろいろ内容は決まっておりましたので、それが決まったのが3月23日ということになります。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました。

この中で計画の中身というのは、誰がつくったのでしょうか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 こちらにお越しいただくという話はこちらからお願いをしておるのですが、どなたを呼んでいただくとか、どういった内容になるかというのは向こうから提案をいただいております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 では、誰を呼ぶとか、俳優さんどういふふうに交渉というのはNHKが決めて、計画をつくっていただいたというところで理解いたしました。

そのところの中で、新城市のほうから市のPRというのを、これこれこういうふうにしてほしいとかそういった要望等はそのときに

伝えたのでしょうか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 お2人にゆかりの地を回っていただきたいということをお伝えはさせていただいております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 これで、PRも考えているということだと思うのですが、500万円という結構高い金額だなと、私、思っております、質疑をさせてもらってるのですが、市のPRも必要だということをやっていると思いますが、一方でNHK大河ドラマのタイアップということも、相まってると思うのです。

そうすると、全額市が500万円出すというよりも、NHKのほうも幾らか出して、新城市も出してという、そういった折半でこの事業を運営するという話というのはあったのでしょうか、伺います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 NHK財団のほうで、やはりタイアップということなのですが、PRとしては、向こうはパネル展を設置するという部分に関して、そちらをしていただいたとなりますが、あとやはりトークショーに関しては、市のほうでというふうなお話でありました。

以上です。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 るるパネルとかそういったのも、分かりました。

分かったのですが、この事業、トータルは全体的に俯瞰してみると、市のPRもちょっとあるかな、ゆかりのある鳥居強右衛門さんとか亀姫さんというのは分かるのですが、ほとんどが大河ドラマに即したPR、タイアップでもあるという事業であります。そうすると、NHKの放映のPRも兼ねて、多分兼ねてるような理解を、僕はしてるのです。

そういう意味で言うと、500万円のうち100万円はNHKさん持ってくださいとか、

そういった出演交渉の金額も含めてですけど、そういったことはこの間の計画の中で、市として主張したのか交渉したのか、計画面について話し合ったのか、伺います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 その点はこちらからもお願いをしておりました。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 もう少し具体的に、しましたということ、値段を下げてほしいって言ったのか、幾らぐらいにしてほしいと、お金も向こうが出してほしいとかそういった具体的な交渉内容を教えてください。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 金額を下げてほしいということも言わせていただいておりますし、それに伴って物販等もこちらでできないかというお話もさせてはいただいておりますけれども、そちらのほうもできないということも言われております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました。下げてほしいということで交渉したということで、それはもう、やっていただいてよかったなと思っております

ちょっとね、500万円って結構高い、もちろん、ほかの今回も、非課税世帯の、今、コロナで大変な状況で、国からの給付をしているという同じ予算の中に、こうやって500万円のタイアップ事業ということで、イベントの事業をするということで非常にどうなのかなというふうに思っているの、私はそういう形で再質疑をさせていただきました。

そういう形で理解をしましたが、出演料についてなんですけど、先ほども話、山田委員からありましたが、2人の出演料というのは、トークショー、コンテンツ料の350万円の中に全て含まれているという理解でよろしいでしょうか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 そのとおりでございます。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 岡崎体育さんと当真あみさんの2人分が、このコンテンツ料の中に入っているということで理解いたしました。

そしたら、柴田委員の質疑の中で心配事ちょっと感じたものですから、そこを確認させていただきますが、6月11日に行くということで計画、理解しましたが、小ホールでも同じく同時開催のイベントがあるということで、この小ホールの利用時間と、今回のタイアップ事業の大ホールでの利用時間というのは重なるのかどうか、そこら辺どうでしょうか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 小ホールでの開場時間につきましては、14時30分、開演は15時、終演は16時15分ということになっております。

〔不規則発言あり〕

○横山和典観光課長 重なりません。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 では、小ホールのイベントと今回のタイアップ事業の時間は重ならないというところで、理解をいたしました。

こちらでは、資料見ますと午後2時開演、午後3時終演と書いてあります。

私はちょっと重なるのではないかと思うんです。というのは、何でこんな質疑するかと言いますと、小ホールに行く方の参加者と大ホールに行くこのタイアップ事業の参加者が、それを見に来るために、その前の時間30分から1時間ぐらい前は、非常に混雑する、大変危険だと心配をちょっと今回しましたものですから、その交通整理を含めて大変なのではないかなと思って聞いております。

公演自体は、もちろんそれだけ見れば重ならないかもしれないけれど、その前から参加する人の駐車場どこに止める、私は文化会館の駐車場、私は大ホールですので桜淵の駐車

場という、そのすみ分けというのが本当にすごく混雑して、雑多になって、大変トラブルになるのではないかなというようにちょっと心配したのですが、そこら辺の認識はどうなのでしょうか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 委員の心配されるとおりだと思っております。

駐車場につきましては、小ホールの方につきましては、文化会館の駐車場を御利用いただくことになっておりますので、動線等も少し違うのかなと思っております。警備員等でその誘導もさせていただきたいと思っております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 区分けをするということなのですが、どういうふうに分けするのでしょうか。向こうから車、来ますよね、文化会館に入ろうと思って。そうしたら、そこで一旦止めて、「あなた、小ホールの参加者ですか、それとも大河ドラマの参加者ですか」というようなことで聞かなければ、私は駐車場、文化会館、私は桜淵の駐車場ということで、大変またそれはそれで混雑になると思うのですがどうなのでしょう。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 このトークショーに来ていただく方には、文化会館の駐車場はありません、桜淵公園のほうに駐車をしていただきたいということと、公共交通機関でのお越しをお願いしております。

以上になります。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 そのことが、いただいた事前の資料等には全く書かれておらないものですから、その周知をしっかりとすべきだと思うのですが、どういう認識でしょうか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 資料のほうに載せていないことについては申し訳ありませんでした。

しっかりと周知をさせていただきたいと思っております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 本当に大変な、せっかく来ていただいても駐車場がない、何だこの市はと言われぬように、安全にちゃんと計画を前もって、日付も含めてやるというのがこの事業だと思います。

ですから、やっぱりちょっと早急というか、急ぎ過ぎてるような気がします。本当だったら、刈谷市のように、3月定例会の当初予算に入れて準備立ててということが必要だと思うのですが。

ちょっと、心配なのでもう1回聞きますが、これまでにあの小ホール、大ホール同時に利用するということがあったのか、そういうことは可能なのか伺います。

○丸山隆弘委員長 鈴木教育部長。

○鈴木隆司教育部長 文化会館の使用でありますので、私のほうからお答えさせていただきます。

文化会館の使用については、基本的に大・小ホールが重なるような場合を避けて、今まで貸出しをしておりましたが、それは絶対ではありませんでした。

過去にそれがあつたかちょっと記憶は定かではありませんが、皆無ではないと認識しております。

以上です。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 そういうことなんです。つまり、駐車場がないというのは、新庁舎建設をやっていく中でも問題になった1点だと思うんです。

ですから、こうした大ホール、小ホールでも、同じ時間帯に行くということは非常にレアケースというか、本当は駐車場の問題もあって避けたほうが良いという、今、教育部長がルールを言っていたと思います。

ですから、そういうことで500万円、せっ

かくかけるのに、非常に混雑して私はこっちの駐車場、こっちの駐車場というふうな形になるのは、本当に心配であるということをお願いしたいと思います。

ですから、本当に危険がないように、トラブルが出ないようにしっかりそこは話し合えないといけないと思いますが、認識を伺います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 今回のホールの管理者と小ホールのイベントを主催される方ともお話をさせていただいて調整をさせていただいております。その点を注意して進めていきたいと思っております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 ぜひ、しっかり話し合いをしていただきたいと思います。

あと最後、財源だけ伺いますが、今回、大河ドラマタイアップ事業500万円ですけど、財政調整基金から財源を持ってくるわけですが、私はやっぱりおかしいと思います。財源の予備費などで対応するのが望ましいと思うのですが、この観光課からの予備費とかそういういったところで、これを財源とするというような話し合いというのはなかったのか、今回こういうケースになったのはどうだったのか伺います。

○丸山隆弘委員長 山本財政課長。

○山本浩志財政課長 この5月補正に、最初、観光課から相談があつたときにも、やはり至急イベント等の開催の案内もありますので、予備費でという相談もございましたけども、やはり500万円という高額な金額でございましたので、議会にお諮りをさせていただいて進めていきたいという形で、この5月臨時会の開会をお願いしております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 分かりました。

そしたら、市の財政って本当に厳しくて、500万円の予備費も出せない状況ぐらい四苦

八苦してる、かちかちになってるというような、スムーズに運用できないというような見方にもなるのですが、その辺はどうなのでしょう。

○丸山隆弘委員長 山本財政課長。

○山本浩志財政課長 予備費として、先ほど歳入の際にも説明をさせていただきましたけれども5,000万円、当初予算で組まさせていただきます。緊急的な災害で対応させていただきます。ありがとうございます。

ですが、今回、予備費充用してしまいますと、こうした議会への報告というものは後日での報告になりますので、一度議会の皆様にもお諮りをさせていただいて、予算計上させていただきます。進めていきたいという形で、今回、計上をさせていただいております。

○丸山隆弘委員長 浅尾洋平委員の質疑が終わりました。

次に、5番目の質疑者、山口洋一委員。

○山口洋一委員 多くの委員から質疑を伺って、それぞれ御答弁をいただいております。

今回、5点ほど質疑をしておりますが、(1)の事業の詳細である、そして(2)の500万円の内訳、また(3)から入っていきませんが、この文化ホールの借上料の必要はあるのか、ないのかという意味であります。

それから、4点目、観覧者、来ていただく方の人数については1,200人という数値をお示しをいただいておりますので、1,200人、先ほど横山課長、「集めます」という強い信念でお答えをいただいたわけありますので、その方法。そして、トークショーだからということなのかも分かりませんが、これに入場料が発生するのかわからないのかということが4点目であります。

そして、それぞれの事業への効果等々については、齊藤委員以下多くの方の委員から質疑がありましたのでこの部分は取下げをさせていただくということをお願いをしたいと思います。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 3点目の文化会館大ホール借上料になります。こちらのほうは費用がかかることとなっております。1日13万8,360円となります。

そして、4点目のトークショーの募集方法につきましては、先ほども回答させていただいておりますが、市のホームページ、市の公式SNS等、あと市観光協会のホームページ、記者への投げ込みで集めたいと思っております。

そして、入場料は無料になります。

以上です。

○丸山隆弘委員長 山口洋一委員。

○山口洋一委員 1,200人を集めるにもいろんな手法をとということでもありますので、本日議決をされなくてはスタートができないわけですが、一応いただいた資料では、明日から募集に入っていくということでもありますので、大変であろうかと思いますが、その点は頑張ってくださいということをお願いしたいと思いますし、また実行していただくということでもあります。

そして、実は、我々がこの臨時会の議案を提示いただいたのが5月1日であります。

そして、5月9日のある地方紙に、この案件が載っております。行うとなってました。行うということは、本日の臨時会が可決されるということを前提として記者発表して思うのです。その点について、どのようなお考えなのか。そのことを新聞各社にお伝えをしたのか。

でないと、これはやはり、こういうことを予定してますよということで、確かに、記事の下段のほうには臨時会云々と書いてありますが、上段だけ見ると行うということになっているということはいかななものかと思えます。これ、ある程度議会というものを尊重してないということになるということになるのかなということをお話ししたくないし、言

われたくないのです、その点について。

これ一番簡単なのは市長に答えていただくのがいいと思うのですが、それだけ、どうもこの新聞の記事が苦になりました。いかがでしょうか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 委員のおっしゃるとおりでございます。

私たちの記者発表につきましては、この議会が通った後に投げさせていただき準備はしておりますので、新聞記事は、恐らくこの議会が行われるということを見られて、記者の方が独自で判断をされて書かれたのではないかなと思っております。

以上です。

○丸山隆弘委員長 山口洋一委員。

○山口洋一委員 これも、500万円という、緊急な場合に、大きな災害が起きたときかいうときに使うという処分方法は条例には6点ありますが、最後に補正をする場合には使えるとなっている。という、こればかり使っていれば、これどんどんいつでも使えるということになりますので、やはりその辺も、市民の貯金というのがこの基金でありますので、そういった意味でも、やはり使い方については考えていく必要があると思いますが。

これはさておき、入場料いただきません。そして、小ホールでのイベントがあるということであったので、参加される方には御案内、抽せんをして当たりましたよ。駐車場はここですよと言いました。だけど、入替時間が多分小ホールと大ホールの観客がバッティングするということがあるので、入場料取らないということは収益事業ではないので、例えば、市のマイクロバスを使って、5分単位、10分単位かあれで、文化会館へ送ります。それで、終了したら、散策をしながら歩いて帰られても結構ですし、もしも御都合なら送りますという、そういったことを考えれば、先ほど来の案件、小ホールと大ホールの入替えの時間

がうまく調整できるのかなと思いますが、そのことはやはり一度、検討ということはやらないということですので、こうするという決めたほうがいいのではないのかなと思いますが、いかがでしょうか。

○丸山隆弘委員長 横山観光課長。

○横山和典観光課長 市のバスを使わせていただくということも考えてはありました。ただ、時間的に、一度に集まってしまった場合に乗れなかった方がという懸念もされますので、もう一度考えさせていただきたいと思っております。

以上です。

○丸山隆弘委員長 山口洋一委員の質疑が終わりました。

以上で、通告による質疑が終わりました。

ほかに質疑はありませんか。

[発言する者なし]

○丸山隆弘委員長 質疑なしと認めます。

歳出7款商工費の質疑を終了します。

次に、歳出10款教育費の質疑に入ります。

質疑者、山口洋一委員。

○山口洋一委員 では、ただいま議題となっております案件につきまして、10款2項1目学校管理費、小学校管理事業で、資料は15ページでございます。

3点、あります。

改修への経緯。

そして、工事請負費の詳細。

そこで、財源としては一般財源を原資としておりますが、令和4年度新城市一般会計補正予算(第10号)、こういったことの経緯かということは御案内かと思いますが、この財政調整基金積立事業を充当するのか。

この点、3点お伺いします。

○丸山隆弘委員長 原田教育総務課長。

○原田俊介教育総務課長 3点のうち、1点目と2点目について、私のほうから答弁させていただきます。

1点目の改修の経緯につきましては、1月

に実施した消防設備保安点検で、自動火災報知設備について、不良箇所指摘を受けたものです。

具体的には、職員室に設置してあります自動火災報知設備の受信機が、各部屋の個別感知器が正常であっても異常を知らせる音響が鳴動する状態となっていることから、速やかに修繕を行う必要があります、今回、補正予算をお願いするものです。

2点目の工事内容につきましては、複合受信設備の取替え、それに伴います配線工事、消防申請及び立会、試験調整費などです。

○丸山隆弘委員長 山本財政課長。

○山本浩志財政課長 それでは、私のほうから3点目について、答弁させていただきます。

今回の取替工事の財源につきましては、財源調整のための財政調整基金繰入金を充当しているものでありまして、令和5年3月定例会でお認めいただきました令和4年度新城市一般会計補正予算（第10号）での財政調整基金積立事業の寄附金を充当しているものではございません。

以上です。

○丸山隆弘委員長 山口洋一委員。

○山口洋一委員 では、1点目からお伺いをしてまいります。

1月に消防の検査を受けられた。消防は改善命令を出しますので、それに基づいて、恐らく改善をしなくてはいけないということで、関係部署は幾らぐらいかかるのではないかと、いうふうな動きをしていただいたと理解をします。

そうすれば、12月におおむね令和5年度の当初予算を決定して、総額253億円という数字を積算してきたわけでありまして、その中に、八名小学校のこういった設備があるから、教育関係の学校管理費としてこの分だけ概算、600万円なら600万円見積もっておいて、当初予算を通すべきであったのかなと理解をしますし、それから、3月のときに第1号と

して補正を一遍打っています、1億9千数百万円、その時点でも恐らくできたのではないのかなと思います。

それを、わざわざ財政調整基金を使うということは、先ほど山本課長からも答弁いただいておりますが、八名小学校、八名中学校に総額600万円ほど篤志家の方からいただいております。その部分を財政調整基金に積むことはやぶさかではないが、はっきり色づけをすることができないけども色づけをするような形を取っておくべきだということを質疑をして承認をしたということがありますが、どうもこれ見ると、八名小学校561万円と出ると、600万円引く561万円、あと31万円しか残らないというような考えに陥ってもいけないし、寄附された方が子どものために使うのならこれ問題ないのだろうが、学校の火災報知機の使用に使うということはいかなるものか。

既に、当該の校長は、八名小学校の卒業生でもありますので、彼が在学当時に使った遊具が使えない。非常に寂しい思いをしてるということをおっしゃってみえました。

ですので、例えば、そういうところへ過日のものを回すならこれある程度理解もできるし、親御さんも我々地域も理解をしますが、どうもこれが561万円としてここに使われるということは、本当によかったのかなということで質問しました。

今、財政調整基金から出しましたということですが、色分けはしてないので、あくまでもその資金が残るのかということでもあります。

○丸山隆弘委員長 山本財政課長。

○山本浩志財政課長 先ほど答弁させていただいたとおり、寄附金のほうの積立分を今回使うのではなくて、あくまで財政調整基金のほうは財源調整のためという形で繰入れをさせていただきたいと思っております。

○丸山隆弘委員長 山口洋一委員。

○山口洋一委員 では、機械の設置をして、ラインを引いて、あと検査を受けて、試験を

受けて、消防申請をするということでありませんが、細かな機械は、全く新規なのか、全部新規ということの理解でよろしいのですか。現行の配線を全部撤去する。集中監視もできるようにするというので、全てが新しく機械が変わるということなのでしょうか。

何か一部には、校庭もどうのこうのというお話も聞いたんですがそれは関係ないんですよ、今回のこの事業には。

○丸山隆弘委員長 原田教育総務課長。

○原田俊介教育総務課長 今回の修繕につきましては、それぞれ個別の感知器については正常でありますので、そこは手をつけないのですが、職員室に設置してあります集中盤のところの基盤に不具合が発生しておりますので、その基盤を取り替えるという工事になります。

○丸山隆弘委員長 山口洋一委員の質疑が終わりました。

以上で、通告による質疑が終わりました。

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○丸山隆弘委員長 質疑なしと認めます。

歳出10款教育費の質疑を終了します。

以上で、第104号議案の質疑を終了します。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

山田辰也委員。

○山田辰也委員 第104号議案 令和5年度新城市一般会計補正予算（第2号）について、反対の立場で討論いたします。

今回の緊急で使うと言われる補正予算は、理解できないものがあります。その1つは、不要になった多目的施設管理運営事業です。壊れている水力発電施設とは名ばかりで、県が率先して再生エネルギーの事業に出されたものであるなら、後始末まで県にさせるべきです。水量改良事業なら分かりますが、県が造って、県が設置した施設なら、最後まで県がちゃんと面倒を見るのは、私はこの考えだ

と思います。

次に、大河ドラマのタイアップ事業です。まず、計画が不鮮明である。支払額の交渉もしていない。トークショーが1時間しかない。例をとれば、刈谷では、20代の末裔の方が参加しておりますが、新城市でも鳥居強右衛門の末裔もいますし、奥平信昌の末裔もいます。トークショーにこそ、こういう方を呼ぶべきであって、何も考えてないというのは今回の質疑で分かりました。これは、NHKの番組の宣伝のために税金500万円が使われているということではないでしょうか。

今後の展開についても、私は市の答弁については見えてこないことばかりで、これが一過性であるということから、反対とします。

以上です。

○丸山隆弘委員長 ほかに討論はありませんか。

柴田賢治郎委員。

○柴田賢治郎委員 私、柴田は、賛成の立場で討論させてもらいたいと思います。

2013年、四谷千枚田にて、小電力発電施設でんでんちゃんが、他地域に先駆けて設置されました。これは2010年の国際会議、生物多様性条約第10回締結国会議、いわゆるCOP10の誘致活動に、四谷の千枚田の画像が使われ非常に貢献したことから、愛知県がその先進地として、生物多様性に配慮した活動をしていることを知らしめるために設置することに至った施設であります。

それら、歴史的なモニュメントとして、また環境に配慮した農業地として先進的な活動をしている象徴として残すことと、毎年の田んぼの水の確保と処置を両立させたことは理解できます。

今後、技術の革新として、県を交えたさらなる発展があることを促すためにも、継続の努力を期待します。

また、大河ドラマタイアップ事業ですが、私も質疑を通して確認させていただきました。

私は500万円が安いとは言えません。しかし、今年度のNHK大河ドラマが放送され、そのタイミングで新城市がタイアップできることとしては限られております。当市は、ドラマ館を用意したり、イベントで68万人など集客できる有名人を呼ぶような事例も他市にはありますが、それらではなく、できる事業があるはずでございます。それらできる事業をせず、当市が当地で起きた史実を題材とした当ドラマとの思い出や思い入れをつくれなことは寂し過ぎます。

500万円の有効活用については、この本会議を通して、今までできていなかったことを、そのイベント当日まで御努力いただくことを期待して、また、物価高騰に対する子育て世帯への対応など速やかに執行する必要がある予算として賛成し、賛成討論とさせていただきます。

○丸山隆弘委員長 ほかに討論はありませんか。

今泉吉孝委員。

○今泉吉孝委員 私は、第104号議案 新城市一般会計補正予算（第2号）に反対の立場から討論いたします。

この予算には、25年以上に及ぶデフレで給料も上がらず、そこへコロナで追い打ちをかけるような物価高騰、この三重苦に苦しむ子どもたちに対する大切な予算も含まれておりますが、大河ドラマタイアップ事業の500万円に関しては、本来NHKのドラマのタイアップ、つまり自分たちの制作する番組の宣伝も兼ねているのに、先ほど述べましたように、市民の皆様の生活が苦しい中、納めていただいている大切な税金を500万円も使うのはどうかと思います。

通常、俳優さんが営業と言われるお仕事をされる場合は、拘束時間や内容でドラマや映画で得られる報酬よりも割りのいいギャランティーが支払われるのは業界では通例であります。でも、今回のゲストでいらっしゃる俳

優さんのバリューに、市が支払う金額としては高額だと私は思います。

ということと、もっと早く議員に伝えていただければ、様々なアイデアやもう少し予算を抑えた金額にできたと思われるため、市のほうの対応も含めて、反対といたします。

○丸山隆弘委員長 ほかに討論はありませんか。

齊藤竜也委員。

○齊藤竜也委員 それでは、私はこちらの第104号議案 新城市一般会計補正予算（第2号）について、賛成の立場で討論します。

多くは本会議のほうでも説明しますが、補正予算の案というのは、今回はいわゆる子育て家庭や低所得世帯に対する補助というのは、当然、補助すべき、補正すべきだと思います。

また、議論になっております小電力発電の施設についてもですけど、その背景だったりとか、どこが造ったかとかそういったこともありますが、シンプルに四谷千枚田の保存会の皆さんが困っていて、田んぼに水を供給するという生活に密接したところを随時補修していくというのは当然のことだと思います。だから、それを普通に進めていけばいいと思っております。

大河ドラマタイアップ事業についても、妥当だと思います。ただし、先ほど質疑でも言いましたが、新城市内、しっかりとPRをして、1,200名を埋めるというところにしっかりと尽力していただきたいと思ひ賛成します。

以上です。

○丸山隆弘委員長 ほかに討論はありませんか。

浅尾洋平委員。

○浅尾洋平委員 それでは、議題になっております第104号議案 令和5年度新城市一般会計補正予算（第2号）について、反対の立場で討論をさせていただきます。

予算の中には、国からの低所得者への補助

金等の予算も含まれており、こちらのほうは賛成であります。

しかし、反対する理由は、トークショーの内容だとか、あとは小水力発電が発電していない状況なのに予算を入れるということ、また、本来、事業の財源として財政調整基金というのは、緊急時の災害、大災害だとか、あとは経済が不安定になって財源が不足したときに発動する基金から、これらの事業を充当するというのは、本来からいうと違うのではないかと思うからであります。

当初予算で予備費5,000万円あるわけですから、そこから使うというのが本来の在り方だと申し上げて、反対といたします。

詳しくは、また本会議で行います。

以上です。

○丸山隆弘委員長 ほかに討論はありませんか。

小野田直美委員。

○小野田直美委員 第104号議案 令和5年度新城市一般会計補正予算（第2号）は、賛成の立場で討論します。

物価高騰による低所得者世帯や子育て世帯への給付事業などにつきましては、推進すべきと考えております。

反対として挙がっている大河ドラマタイアップ事業につきましては、一般財源500万円もの予算を使って行うべき事業かどうかということが争点になっておりますが、市が議案を出してきた以上、期待を裏切らない事業にさせていただくことに期待します。

詳細については、本会議で話します。

以上です。

○丸山隆弘委員長 ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○丸山隆弘委員長 討論なしと認めます。

討論を終了します。

これより、第104号議案を採決します。

賛否両論がありますので、起立により採決

します。

本議案は、原案のとおり可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○丸山隆弘委員長 起立多数と認めます。

よって、第104号議案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

~~~~~

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は全て終了しました。

なお、委員会の審査報告書及び委員長報告の作成については、委員長に一任願いたいと思います。

これに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

**○丸山隆弘委員長** 異議なしと認め、そのように決定させていただきます。

これをもちまして、予算・決算委員会を終了します。

**閉 会 午後0時46分**

以上のとおり会議の次第を記録し、これを証するために署名する。

予算・決算委員会委員長 **丸山隆弘**